

第3回木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトの開催

伊勢湾台風を超えるような大規模水害が生じた場合、ゼロメートル地帯が広がる木曾三川下流部では、洪水、高潮による広域的、長期的な浸水が想定されます。そのような状況においても犠牲者ゼロの実現を目指し、8市町村（桑名市、木曾岬町、海津市、弥富市、愛西市、津島市、蟹江町、飛島村）の首長が地域住民の防災意識向上や広域避難などの必要な取り組みについて公開でディスカッションしました。

また、ディスカッションの前段として、アドバイザーの片田教授が、木曾三川下流部での広域避難の取り組み紹介や、海外の広域避難事例から日本で不足する点や今後求められる点について、などを講演されました。

ディスカッションの全体講評では、8市町村が連携した広域避難情報の発表や、広域避難誘導體制の確立についての提案がなされました。

日 時：平成30年6月9日（土）15:00～17:00
会 場：弥富市総合社会教育センター
出 席：木曾三川下流部沿川8市町村長

アドバイザー：片田敏孝
東京大学大学院情報学環特任教授
コーディネーター：木曾川下流河川事務所長
来場者：約300人



会場の様子



片田教授による講演



【ディスカッション第1部】
左より、伊藤桑名市長、日永愛西市長、
日比津島市長、松永海津市長



【ディスカッション第2部】
左より、服部弥富市長、横江蟹江町長、
久野飛島村長、加藤木曾岬町長



第3回広域避難プロジェクトの顔触れ